

公表	保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表
----	------------------------

○事業所名	放課後等デイサービスもぐすた			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 15日		～	2026年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		～	2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 15日		～	2026年 1月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1校	(回答数)	2枚
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者支援の機会を大切にした支援を行っている。	・保護者の不安や困り感に寄り添い、丁寧な聞き取りを心掛けている。 ・子どもの様子や支援内容について具体的に伝えている。 ・家庭と関係機関との橋渡しを意識した支援を行っている。	・情報提供内容の充実をはかる。 ・支援方針の共有を強化する。
2	専門的知識を有する職員が保育所等訪問支援を実施している。	・子どもの特性や発達段階を踏まえた支援方法を提案するように心掛けている。 ・事前に支援会議を行い、該当する利用者の特性を理解したうえで訪問するようにしている。	・職員の専門性向上のための研修に参加する。 ・助言内容の振り返りや改善を行う。 ・支援事例の共有や蓄積を行う。
3	訪問後の手厚い支援体制を整えている。	・訪問後のフィードバックを、訪問先の幼稚園や保育園、小学校とご家族に行っている。 ・訪問前の事前のアセスメントを行い、訪問の目的や観察ポイントを明確化している。	・定期的にその後の様子の聞き取りを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の実施機会が十分に確保できなかった。	・業務調整や日程調整への時間が確保できなかった。 ・他業務との兼務による影響で、保育所等訪問の実施の機会が確保できなかった。	・訪問計画を早期に計画する。 ・業務分担の見直しを行う。 ・訪問支援の優先順位の整理を行う。
2	一部の職員による対応が中心となり、職員間での育成や連携に課題が見られた。	・業務が固定化する。 ・支援経験に偏りが出る。 ・情報共有の機会が不足してしまう恐れがある。	・情報共有の確保を図り、保育所等訪問支援で得た支援の方針を放課後デイまたは児童発達支援で継続的に行えるよう活かしていく。 ・複数の職員が関わられるよう体制を見直す。
3	保育所等訪問支援サービスの質の向上に向けた研修体制が十分に整備されていなかった。	・研修機会が不足していた。 ・時間確保に課題があった。 ・体系的な学習機会の整備ができていなかった。	・外部研修への参加を検討する。 ・事業所内研修の実施を行う。 ・支援事例の共有・検討会を開く。